

国土交通省港湾局、港湾空港総合技術センター、
日本埋立浚渫協会、シンガポール i-Construction 調査団共催
「i-Construction 意見交換会」への参加

1. 概要

国土交通省港湾局、港湾空港総合技術センター (SCOPE)、日本埋立浚渫協会は平成 30 年 4 月 24 日、日本における i-Construction の現状視察のために来日したシンガポール調査団と最新技術を生かした港湾施策について話し合う「i-Construction 意見交換会」を東京都千代田区の尚友会館で開催しました。

国土交通省港湾局国際企画室久田室長より開会挨拶があった後、日本側からは i-Construction を活用した港湾建設の生産性革命について、シンガポール側からは、BIM (ビルディング・インフォメーション・モデリング) の現状と今後の活用についての発表がありました。

i-Construction 調査団の調査日程

月日	内容
4月24日(火)	港湾局、SCOPE、埋浚協、調査団と i-Construction 意見交換会 (写真下)
4月25日(水)	午前：コマツ IOT センタ (千葉市美浜区) での ICT 土工操作オペレーション技術の視察 午後：東京港 13 号地客船ターミナル工事での客船棧橋建設および沈埋工法による南北線海底トンネル工事の視察
4月26日(木)	午前：東京湾川崎臨海道路における橋梁建設の視察 午後：五洋建設株式会社研究所で ICT 最新技術開発の視察
4月27日(金)	午前：新海面処分場建設事業や東京国際空港整備事業および客船ターミナル工事現場等を海上から視察 午後：市川土壌再利用センター (建設発生土受入施設) の視察
4月28日(土)	調査団帰国

「i-Construction 意見交換会」参加者一覧表

会社名	氏名/所属
シンガポール i-Construction 調査団 (13 名)	
JTC コーポレーション	カルビン・チョン (Calvin Chung / Director of Reclamation & Infrastructure Division)、以下 3 名
シンガポール海事港湾庁 (Maritime and Port Authority of Singapore, MPA)	ソン・ティアンチェン (Dr.Song Tiancheng / Deputy Director of Engineering, Engineering & Information Technology Division)、以下 2 名
シンガポール住宅開発庁 (Housing and Development Board of Singapore, HDB)	ライオネル・アン (Ang Loy Jin, Lionel / Deputy Director, Coastal Engineering Section、以下 2 名)

スパナ・ジュロン・コンサルタンツ (Surbana Jurong Consultants, SJC)	★シア・キム・フウア (Seah Kim Huah / Managing Director, Infrastructure 1)、以下 2 名
日本側参加者	
国土交通省港湾局	久田成昭/国際企画室長
国土交通省港湾局	★藤田亨/港湾保全政策室長
港湾空港総合技術センター	★大野正人/業務執行理事、以下 4 名
日本埋立浚渫協会	★野口哲史/技術委員会委員長、以下 11 名

★意見交換会での発表者



2. 「i-Construction 意見交換会」議事内容

出席者 40 名程度

- ①港湾局港湾保全政策室藤田室長：3D データを活用した発注、施工業者の技術競争における ICT による技術提案評価、など。
- ②SCOPE 大野業務執行理事：ICT を活用した工事現場における検査や各種手続きの効率化について。
- ③埋浚協野口技術委員長：日本の民間企業における ICT の標準化と技術競争について。
- ④SJC シア・キム インフラ第一部長：BIM を介した施工生産性のシンガポール国内の現状および向上策について。

また、意見交換会終了後、会場を東海大学校友会館に移し、関係者を含む交流会を賑やかに開催し、相互の理解と懇親を深めました。



所感：i-Construction の背景と現状は両国間で異なるものの、生産性の向上という目的は同じであることを相互に確認しました。今後も、両国間の交流を継続させて業界として i-Construction への取り組みを加速させていくことが望まれます。